



みどりの風

令和3年12月1日発行
校報 591号
(みどりの風 134号)
練馬区立関町北小学校

感謝の気持ち～おかげさま・ありがとう

主幹教諭 相場 雅子

12月に入り、今年も残すところ1か月となりました。この機会に1年間を振り返ってみませんか。楽しかったこと、苦しかったこと、さまざまな思い出が浮かび上がってくるかと思います。

先日、子供たちにとって大きな行事の一つである、学芸会を無事終えることができました。保護者の皆様には、準備段階から本番までの長い期間にわたって、たくさんのご協力をいただきましたこと、そしてこの行事を実施するにあたって多くのご理解を賜りましたことを感謝申し上げます。

関町北小学校の学芸会は、なんと4年ぶりの開催でした。今の6年生が2年生の時に「町いっばいに音楽を」を演じていたかと思います。振り返ってみると、校舎改築のため、コロナ感染症感染拡大防止のため、60周年記念のため等、様々な出来事が重なったことで、学芸会の実施が見送られていました。

そして、迎えた今年の学芸会。音響や照明も最新の機材があり、空調も整っている新しい体育館で、卒業生の子供たちが行ってきたものとは違う「新しい学芸会」を開催しました。新しい学芸会とは、何か……。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子供たちが達成感を得て、成長することができる舞台を創るということです。マスクを着用したままで、事前に録音した台詞に合わせて演じる子、照明や大道具を作ったり、動かしたりする子、合奏で劇を盛り上げる子など、様々な場面で多様な役割がありました。そのどの役割においても、子供たち一人一人が責任をもち、最後までやり遂げようと一生懸命取り組む姿が見られました。そして、劇の最後に「ありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えていました。その誇らしげな顔を見て、頬を濡らした方も多いのではないのでしょうか。私は、素晴らしい発表で成長を見せてくれた子供たちに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいです。



「終わりよければすべてよし」という言葉があります。12月を気持ちよく終えることは、この1年をよい年であったと締めくくることにつながります。そのために、2つのことをやってみてはいかがでしょうか。1つは2021年に「できたこと」と「できなかったこと」を書き出すこと。もう一つは2022年に「やってみたいこと」を書き出すことです。2学期の終わりには、子供たちは「あゆみ」を持ち帰ります。そのことを基にして、お子様と一緒に振り返ってみることもお勧めです。もちろん、全てが実現できるわけではありませんが、振り返り、目標を立てることで、有意義な1年を迎えられるきっかけにしてみてもはいかがでしょうか。

保護者・地域の皆様、関係者の皆様のお陰で、2021年の関町北小学校は、よい締めくくりができそうです。ありがとうございます。残り、1か月です。今月も宜しく願いいたします。